

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）
農山漁村発イノベーション推進事業（地域活性化型）
農山漁村関わり創出事業のうち「農山漁村体験研修の実施」

農山漁村体験研修事例集

令和7年3月

農林水産省

■ 農山漁村体験研修とは

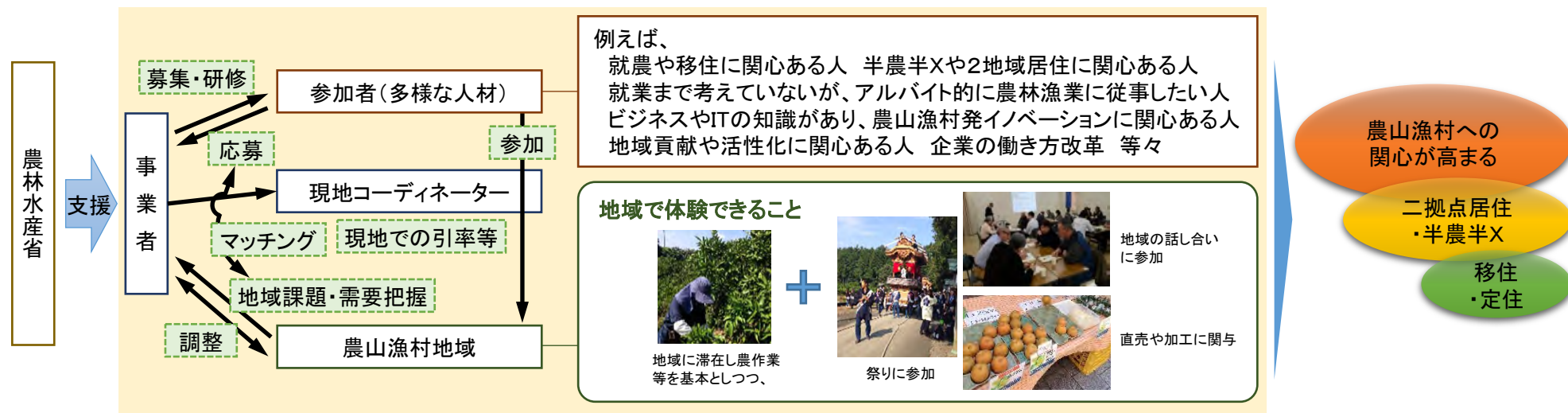
1 事業の概要

農山漁村においては、人口減少・高齢化、社会インフラの老朽化等に伴い、地域の活力や経済が低迷しています。一方、都市部を中心に、潜在的な就農希望者（すぐに就農や移住をするわけではないが関心がある者）が多く存在しており、こうした人々は、農林水産業の働き手としてだけでなく、専門的な知識や技術等を駆使して地域の活性化に貢献することも期待されます。

このため、本事業では、そうした潜在的な就農希望者等が、農林水産業や地域における様々な活動を体験する「農山漁村体験研修」の場を広げるにより、「農山漁村を知ってもらう」機会を提供し、地域との「関わり」を創出することとしました。これにより、農山漁村に多様な形で関わりながら理解を深め、農山漁村に関心を持つ関係人口が増加するとともに、農山漁村で暮らす人々が生き生きと活躍できる環境の創出につながると考えています。

本事業での特色溢れる取組がモデルとなり、産官学金労言が連携して全国の農山漁村地域で「関わり」を創出する取組が展開されることを期待しています。

2 事業イメージ



■ 農山漁村体験研修事例集の活用方法

本事例集は、農山漁村振興交付金を活用して令和4年度から5年度にかけて事業を実施した6事業実施主体による体験研修の取組を掲載しています。取組の概要や事業のポイント等を整理しておりますので、農山漁村地域での新たなビジネス創出や外部人材との関わりづくりの参考にしてください。

【民間事業者の方へ】

地域（農業者や地域協議会等）や地方公共団体との連携体制、業務分担等の検討にご活用いただけます。

【地方公共団体・地域協議会等の農山漁村地域の方へ】

関係人口や移住の増加、担い手の確保又は地域課題解決手段の1つとしてご検討ください。

お問い合わせ先

農村振興局農村政策部
都市農村交流課
電話：03-3502-8111（内線5451）

■ 農山漁村体験研修実施モデル

本事例集に掲載する6事業実施主体の取組を目的別に分類しました。目指すゴールの違いによりターゲットや地域コーディネーター(注1)に特徴があります。

強 ← マネジメント要素

(事業の特徴)

地域密着型 → 強

	地域へノウハウ伝授	地域と人のマッチング		地域の課題解決	移住定住を見据えて	
事業実施主体	株式会社 大田原ツーリズム	日本航空株式会社	認定NPO法人 サービスグラント	ハレノヒ株式会社	農ライフアーズ 株式会社	一般社団法人 九州のムラ
ターゲット (注2)	● 農山漁村や地域ビジネスに興味ある方 ● 農山漁村地域への移住・定住を考えている方 ● 地域に興味があり関わりたいと思っている方	● 地域とポジティブな関係を持ちたいと考える都市部在住者 ● 移住や就農希望者、大学生、テレワーク可能な会社員など	● 都市部で働くビジネスパーソン、フリーランスなど ● 中間支援組織、行政担当者、観光協会などのコーディネーター	● 地域課題を解決できる外部人材	● 都市部で働くビジネスパーソン	● 都市部在住者 ● 農山漁村地域への移住(又は2拠点居住)に関心を持っている方
地域コーディネーター (注1)	● 民間事業者 ● 地域団体 ● 自治体	● 民間事業者 ● 地域団体(注3)	● 民間事業者 ● 地域団体(注3) ● 農林漁業者 ● 自治体	● 民間事業者 ● 地域団体(注3) ● 個人	● 民間事業者	● 民間事業者 ● 地域団体(注3) ● 農林漁業者 ● 地域おこし協力隊
取組のポイント	募集から受入までの過程を一貫して自治体が担う。	持続的な関係人口創出自走型プラットフォームを構築。	地域外のプロボノ人材と地域を繋げる。	研修生の力で地域課題解決に取り組む。	地域キーマンを核としたプログラム構築。	農泊実践地域で現地研修を実施。
目指すゴール	受入地域の地域力が向上し、地域自らが体験研修事業を構築・実施。	都会に居住したまま地域に継続的に関わり続ける関係人口づくり。	“ふるさとプロボノ”を活性化させ、地域課題解決に資する人材を増やす。	地域外の人材による地域課題の解決をビジネス化。	農に関わる人の増と農的な起業・複業の推進。	地域への関心を高め、二拠点居住や移住に繋げる。

(注1)「地域コーディネーター」は、円滑な体験研修事業実施のために研修参加者及び受入地域をサポートする役割を担う。

(注2)就職氷河期世代については一律に交付金の要件としていたため、当該世代に関しては記載しない。

(注3)本資料における「地域団体」は、地域協議会や自治会等の地域活動を行う団体を指す。

■ 事例集の活用ガイド(取組事例目次)

取組事例目次		取組の概要	体験研修開催地域							
頁数	事業実施主体		北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国四国	九州
6	ハレノヒ株式会社	外部人材と地域住民が地域課題の解決に向けた取組を推進 地域課題を解決できる人材を研修生として募集・派遣し、研修生の能力や知識等を活かして研修先地域の課題を解決。地域課題の解決をビジネスとして、課題解決に対して報酬を支払う仕組みを検討。 https://harenohi.world/	○	○	○			○		○
9	日本航空株式会社	農山漁村への関係人口を創出する持続可能なビジネスモデルの構築 都会生活者に農山漁村地域での滞在型研修を体験してもらい、地域の魅力を感じてもらうことで移住への潜在需要の掘りおこしに成功。就農希望者向けに農業の「体験的学び」の機会を提供し、新規就農者を創出。都会に居住したまま地域に継続的に関わり地域課題解決に寄与する関係人口づくりと事業モデルのPOC及び構築を実施。 https://furumusu.jal.co.jp/		○						○
11	株式会社大田原ソーリズム	受入地域連携により柔軟な研修受入れと地域力向上を目指した取組を展開 受入地域同士がジョイントを組むことで、研修生の研修したい目的とスケジュールに合わせて柔軟な研修受入れを可能とし地域ごとにに関わりたい人材を研修。地域にとっても単純な受入れではなく、募集から研修生毎の受入デザインを作るまでの一貫の過程を担うことで地域力向上を目指した取組を推進。 https://www.ohtawaragt.co.jp/		○	○					
13	一般社団法人九州のムラ	研修受入地域が継続した事業が出来るような取組を推進 農家民宿などの農泊実践地域を対象に現地研修を実施し、継続した交流が出来る環境づくり。地方で「暮らす」と「働く」をリアルに体験し、研修終了後に移住に繋がりがやすい機会を提供。 https://9mura.net/						○	○	○
16	認定NPO法人サービスグラント	課題解決型地域交流プログラム“ふるさとプロボノ”を推進 農山漁村の産業や地域づくりを担う組織が持つ課題解決に、地域外の企業人等がプロボノ(仕事の経験を活かした社会貢献活動)として関わるプロジェクト機会を通じ、関係人口の創出を目指す。 https://furusato-probono.jp/		○	○	○		○	○	○
20	農ライフーズ株式会社	農的な起業・複業をはじめビジネスパーソンの活動を推進 主に都市部で働くビジネスパーソンを対象に「農業」だけでなく、半農半Xから派生させた【農X】という農的な暮らしを中心に置きながら、地域での農的な生業(起業・複業)をつくっていく「新しい生き方・働き方」の推進および、選択肢の多様化を通じた農的な起業・複業の推進を目指す。 https://nou-x.noulifers.com/		○	○	○		○	○	○

各事業者の取組概要及びWEBサイトを記載しています。
個別の事業に関するご質問等は事業実施主体へ直接お問い合わせください。

令和4年度及び5年度に農山漁村振興交付金を活用して農山漁村体験研修を実施した事業実施主体名を記載しています。

体験研修の開催地をエリア毎に分類しています。

【開催地域の分類】

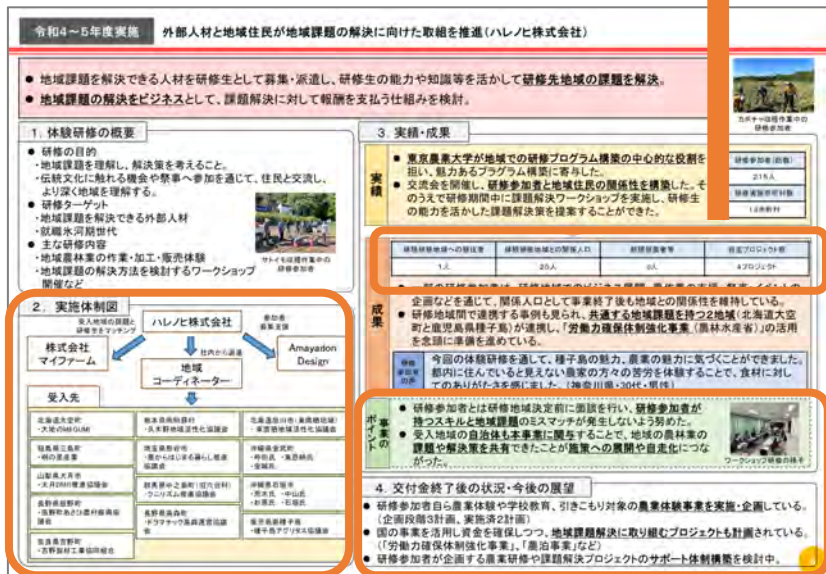
- 北海道
(北海道)
- 東北
(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
- 関東
(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県)
- 北陸
(新潟県、富山県、石川県、福井県)
- 東海
(岐阜県、愛知県、三重県)
- 近畿
(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)
- 中国四国
(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
- 九州
(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
- 沖縄
(沖縄県)

※本事例集は、令和7年2月末現在の情報に基づいて作成しています。

■ 事例集の活用ガイド(取組事例)

事業の成果として①体験研修地域への移住者②体験研修地域との関係人口③新規就農者等④事業実施主体任意項目の計4～5項目を記載しています。

なお、数量は令和6年11月現在の事業実施主体の申告に基づいており、計測方法が統一されたものではありません。



体験研修を実施するに当たって連携した団体名や役割を記載しています。

事業のポイントや交付期間終了後の状況・今後の展望を記載しています。

各地域で開催した体験研修の概要を記載しています。

各地域での体験研修に加えて
全体研修を実施した場合に記載しています。



体験研修を実施した地域ごとに次の項目を記載しています。

- 自治体名
- 開催期間
- 研修人数(当該期間の研修に参加した人数)
- 研修内容

※本事例集は、令和7年2月末現在の情報に基づいて作成しています。

■ 取組事例目次

頁 数	事業 実施主体	取組の概要	体験研修開催地域								
			北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国 四国	九州	沖縄
6	ハレノヒ株式会社	外部人材と地域住民が地域課題の解決に向けた取組を推進 地域課題を解決できる人材を研修生として募集・派遣し、研修生の能力や知識等を活かして研修先地域の課題を解決。地域課題の解決をビジネスとして、課題解決に対して報酬を支払う仕組みを検討。 https://harenohi.world/	○	○	○			○		○	○
9	日本航空株式会社	農山漁村への関係人口を創出する持続可能なビジネスモデルの構築 都会生活者に農山漁村地域での滞在型研修を体験してもらい、地域の魅力を感じてもらうことで移住への潜在需要の掘りおこしに成功。就農希望者向けに農業の「体験的学び」の機会を提供し、新規就農者を創出。都会に居住したまま地域に継続的に関わり地域課題解決に寄与する関係人口づくりと事業モデルのPOC及び構築を実施。 https://furumusu.jal.co.jp/		○						○	○
11	株式会社大田原ツーリズム	受入地域連携により柔軟な研修受入れと地域力向上を目指した取組を展開 受入地域同士がジョイントを組むことで、研修生の研修したい目的とスケジュールに合わせて柔軟な研修受入れを可能とし地域ごとに関わりたい人材を研修。地域にとっても単純な受入れではなく、募集から研修生毎の受入デザインを作るまでの一貫の過程を担うことで地域力向上を目指した取組を推進。 https://www.ohtawaragt.co.jp/		○	○						
13	一般社団法人九州のムラ	研修受入地域が継続した事業が出来るような取組みを推進 農家民宿などの農泊実践地域を対象に現地研修を実施し、継続した交流が出来る環境づくり。地方で「暮らす」と「働く」をリアルに体験し、研修終了後に移住に繋がりがしやすい機会を提供。 https://9mura.net/						○	○	○	
16	認定NPO法人サービスグラント	課題解決型地域交流プログラム“ふるさとプロボノ”を推進 農山漁村の産業や地域づくりを担う組織が持つ課題解決に、地域外の企業人等がプロボノ（仕事の経験を活かした社会貢献活動）として関わるプロジェクト機会を通じ、関係人口の創出を目指す。 https://furusato-probono.jp/		○	○	○		○	○	○	
20	農ライフアーズ株式会社	農的な起業・複業をはじめるビジネスパーソンの活動を推進 主に都市部で働くビジネスパーソンを対象に「農業」だけでなく、半農半Xから派生させた【農X】という、農的な暮らしを中心に置きながら、地域での農的な生業（起業・複業）をつくっていく「新しい生き方・働き方」の推進および、選択肢の多様化を通じた農的な起業・複業の推進を目指す。 https://nou-x.noulifers.com/		○	○	○		○	○	○	

- 地域課題を解決できる人材を研修生として募集・派遣し、**研修生の能力や知識等を活かして研修先地域の課題を解決。**
- **地域課題の解決をビジネスとして、課題解決に対して報酬を支払う仕組みを検討。**



カボチャ収穫作業中の研修参加者

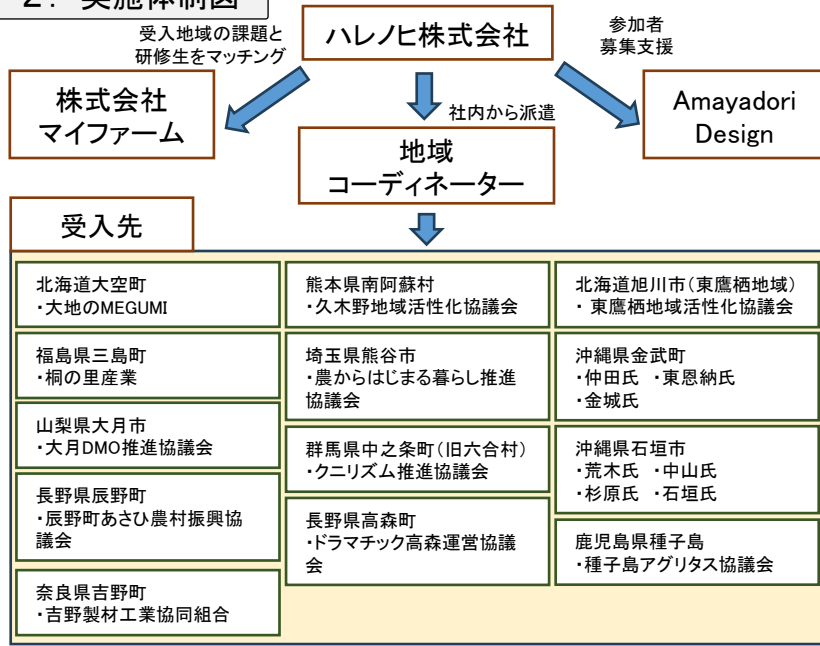
1. 体験研修の概要

- 研修の目的
 - ・地域課題を理解し、解決策を考えること。
 - ・伝統文化に触れる機会や祭事へ参加を通じて、住民と交流し、より深く地域を理解する。
- 研修ターゲット
 - ・地域課題を解決できる外部人材
 - ・就職氷河期世代
- 主な研修内容
 - ・地域農林業の作業・加工・販売体験
 - ・地域課題の解決方法を検討するワークショップ開催など



サトイモ収穫作業中の研修参加者

2. 実施体制図



3. 実績・成果

実績

- 東京農業大学が地域での研修プログラム構築の中心的な役割を担い、魅力あるプログラム構築に寄与した。
- 交流会を開催し、**研修参加者と地域住民の関係性を構築した。**そのうえで研修期間中に課題解決ワークショップを実施し、研修生の能力を活かした課題解決策を提案することができた。

研修参加者(総数)
215人
研修実施市町村数
13市町村

成果

- 一部の研修参加者は、研修地域でのビジネス展開、農作業の支援、祭事・イベントの企画などを通じて、関係人口として事業終了後も地域との関係性を維持している。
- 研修地域間で連携する事例も見られ、**共通する地域課題を持つ2地域(北海道大空町と鹿児島県種子島)が連携し、「労働力確保体制強化事業(農林水産省)」の活用を念頭に準備を進めている。**

研修参加者の声
今回の体験研修を通して、種子島の魅力、農業の魅力に気づくことができました。都内に住んでいると見えない農家の方々の苦労を体験することで、食材に対してのありがたさを感じました。(神奈川県・30代・男性)

事業のポイント

- 研修参加者とは研修地域決定前に面談を行い、**研修参加者が持つスキルと地域課題のミスマッチが発生しないよう努めた。**
- 受入地域の**自治体も本事業に関与することで、地域の農林業の課題や解決策を共有できたことが施策への展開や自走化につながった。**



ワークショップ研修の様子

4. 交付金終了後の状況・今後の展望

- 研修参加者自ら農業体験や学校教育、引きこもり対象の農業体験事業を実施・企画している。(企画段階3計画、実施済2計画)
- **国の事業を活用し資金を確保しつつ、地域課題解決に取り組むプロジェクトも計画されている。**(「労働力確保体制強化事業」、「農泊事業」など)
- 研修参加者が企画する農業研修や課題解決プロジェクトの**サポート体制構築**を検討中。

全体研修

期間

◆令和4年度

〈オンライン事前研修〉

令和4年9月21日 19時～ 南阿蘇村
 令和4年9月22日 19時～ 大空町
 令和4年9月30日 18時～ 三島町
 令和4年10月15日 18時～ 熊谷市
 令和4年9月28日 19時15分～ 旧六合村
 令和4年9月28日 18時～ 辰野町
 令和4年10月20日 19時～ 大月市
 令和4年11月25日 19時～ 吉野町

〈オンライン研修後課題共有〉

令和5年3月1日 19時～ 南阿蘇村
 令和5年3月2日 20時～ 大空町
 令和5年3月8日 19時～ 三島町
 令和5年2月15日 20時～ 熊谷市
 令和5年3月15日 19時～ 旧六合村
 令和5年3月16日 19時～ 辰野町
 令和5年3月10日 18時～ 大月市
 令和5年3月17日 19時～ 吉野町

◆令和5年度

〈オンライン事前研修〉

令和5年7月22日 16時30分～ 石垣市
 令和5年8月12日 20時～ 旭川市(東鷹栖)
 令和5年10月5日 20時～ 金武町
 令和5年10月11日 18時30分～ 種子島

なお、日程調整が困難な研修生は、録画による事前研修及び研修後課題共有を実施した。

内容

研修前に研修地域や受入農家を研修生に紹介する他、研修内容を受入農家からの説明会を実施した。そのほか、東京農大の教授から地域農業の特徴や地域課題や解決方法についてのヒントを説明して頂いた。研修終了後は、令和5年度に向けて、地域の課題を共有し、解決するシナリオを受入側と共に深めるような事後研修を実施した。なお、令和5年度の新規受入地域は、年度内完結のため、研修と同時進行で課題及び解決案を共有した。



オンライン研修の様子

北海道大空町

期間

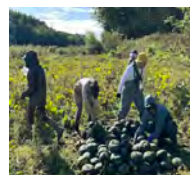
令和4年9月28日～30日(2泊3日)
 令和4年10月15日～17日(2泊3日)
 令和4年11月16日～18日(2泊3日)
 令和5年1月25日～27日(2泊3日)
 令和5年9月12日～17日(5泊6日)
 令和5年10月1日～9日(任意選択)

人数

合計34人

内容

有機農業と相対取引を学ぶ研修。主にカボチャとジャガイモの収穫や選別作業が中心。労働力不足も深刻であり課題解決に向けたアイデアを検討。



カボチャの収穫作業

福島県三島町

期間

令和4年10月5日～7日(2泊3日)
 令和4年11月10日～12日(2泊3日)
 令和5年1月15日～17日(2泊3日)
 令和6年1月14日～16日(2泊3日)
 令和6年2月16日～18日(2泊3日)
 令和6年2月25日～27日(2泊3日)

人数

合計25人

内容

人口減少が著しい奥会津。中山間地域の農業と地域資源(桐や地鶏)を活用した商品開発を学ぶ研修。



雪下キャベツの掘り起し

群馬県中之条町(旧六合村)

期間

令和4年10月2日～4日(2泊3日)
 令和4年10月26日～28日(2泊3日)
 令和5年1月15日～17日(2泊3日)
 令和5年8月23日～25日(2泊3日)
 令和5年9月10日～12日(2泊3日)

人数

合計44人

内容

草津温泉近郊の人口が少ない中山間地域。山野草を活かしたドライフラワーが人気であり、山野草の用途を考える研修。



山野草の収穫作業

熊本県南阿蘇村

期間

令和4年9月25日～27日(2泊3日)
 令和4年10月31日～11月2日(2泊3日)
 令和5年2月1日～3日(2泊3日)
 令和5年9月3日～5日(2泊3日)
 令和5年10月28日～11月2日(5泊6日)

人数

合計31人

内容

差別化できる有機農産物に挑戦中。市場を拡大し海外への展開も視野に入れている取組を学ぶ研修。



稲刈り作業

埼玉県熊谷市

期間

令和4年10月17日～19日(2泊3日)
 令和4年12月5日～7日(2泊3日)
 令和5年2月15日～17日(2泊3日)

人数

合計24人

内容

農福連携や都市近郊農業を学ぶほか、草刈り作業農泊施設に宿泊し、農泊メニュー学ぶ研修。



草刈り作業

山梨県大月市

期間

令和4年10月23日～25日(2泊3日)
 令和4年12月1日～3日(2泊3日)
 令和5年2月8日～10日(2泊3日)

人数

合計38人

内容

貸し農園ビジネスや農業収穫・加工品を学ぶ研修。また、地域の移住者との交流もあり、多面的に地域を検討。



しいたけの駒打ち作業

長野県辰野町

期間

令和4年9月30日～10月2日(2泊3日)
令和4年11月22日～24日(2泊3日)
令和5年1月17日～19日(2泊3日)
令和5年12月10日～12日(2泊3日)
令和5年3月10日～12日(2泊3日)

人数

合計24人

内容

高齢化が進む農村地域。近年は、インバウンドで農家民泊が人気。農地保全やグリーンツーリズムを考える研修。



野沢菜の収穫作業

北海道旭川市(東鷹栖地区)

期間

令和5年8月17日～21日(4泊5日)
令和5年9月17日～21日(4泊5日)
令和6年1月24日～28日(4泊5日)

人数

合計14人

内容

コメの生産量が多いものの、農産物の農家と地域課題を相談知名度が低い地域。地域の若者と農産物ブランド化を考える研修。



沖縄県金武町

期間

令和5年10月12日～16日(4泊5日)
令和5年11月21日～25日(4泊5日)
令和5年12月16日～21日(4泊5日)

人数

合計11人

内容

琉球王国から生産している田芋の知名度向上と沖縄以外に販売したい課題を地域農家と考える研修。



田芋圃場の管理(草刈り)

沖縄県石垣市

期間

令和5年9月27日～10月1日(4泊5日)
令和5年12月6日～10日(4泊5日)
令和6年1月17日～21日(4泊5日)

人数

合計18人

内容

石垣パインは美味であるのに知名度が低く、販売価格も安い。農家所得向上を地域農家と考える研修。



石垣パイン圃場管理

鹿児島県種子島 (西之表市、中種子町、南種子町)

期間

令和5年10月18日～22日(4泊5日)
令和5年12月13日～17日(4泊5日)
令和6年2月7日～11日(4泊5日)

人数

合計15人

内容

島嶼地域のため労働者が不足しているサトウキビ収穫現場地域。農業繁忙期の労働力を集める工夫や低糖度のサトウキビの用途開発を検討する研修。



奈良県吉野町

期間

令和4年11月28日～30日(2泊3日)
令和4年12月14日～16日(2泊3日)
令和5年2月21日～23日(2泊3日)
令和5年12月22日～24日(2泊3日)
令和6年3月2日～3日(2泊3日)

人数

合計61人

内容

吉野杉や檜は日本を代表する木材。木材の国内需要が減少し用途開発や市場開発を検討する研修。



吉野杉の付加価値化を検討

長野県高森町

期間

〈A班〉
令和4年8月6日～8日(2泊3日)
令和4年10月23日～25日(2泊3日)
〈B班〉
令和4年8月28日～30日(2泊3日)
令和4年11月8日～10日(2泊3日)

人数

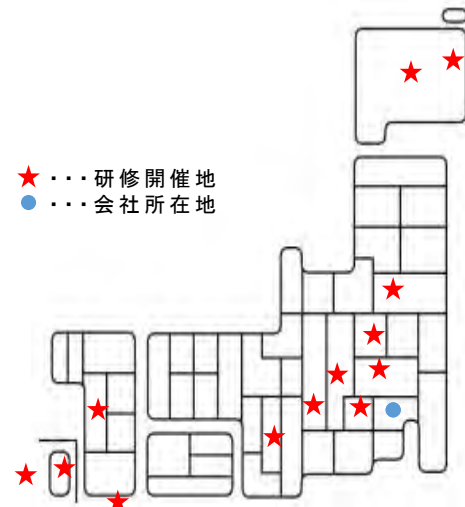
合計19人

内容

地域資源の市田柿はGIを取得したが、高齢化により地域生産が減少している。市田柿の用途開発のほか、過疎地域の活性化を学ぶ研修。



市田柿の収穫作業



★・・・研修開催地
●・・・会社所在地

- 都会生活者に農山漁村地域での滞在型研修を体験してもらい、地域の魅力を感じてもらうことで**移住への潜在需要の掘りおこし**に成功。
- 就農希望者向けに**農業の「体験的学び」**の機会を提供し、新規就農者を創出。
- 都会に居住したまま地域に継続的に関わり地域課題解決に寄与する**関係人口づくりと事業モデルのPOC及び構築**を実施。



JALふるさとむすび

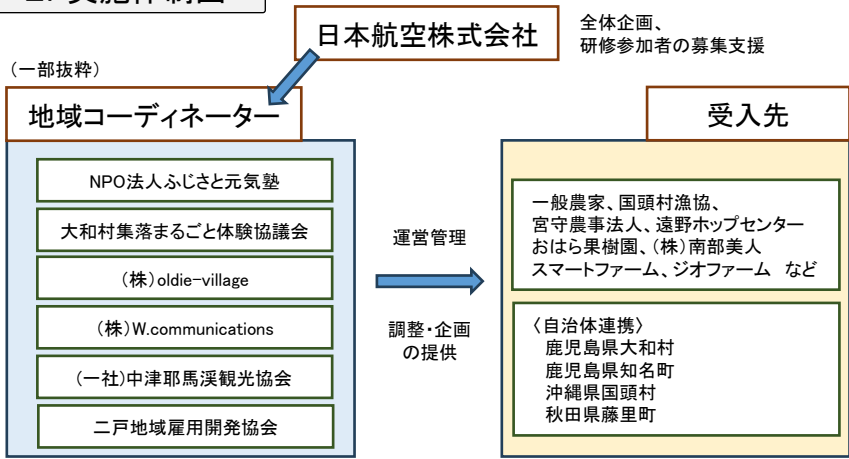
1. 体験研修の概要

- 研修プログラムの目的
 - ・2週間の地域体験研修を行い、地域生活を通して地域の魅力を感じる研修事業のレビューから関係人口創出のスキーム、コンセプトを確定し、プラットフォーム及びwebサイトを構築する。
- 研修ターゲット
 - ・地域とポジティブな関係を持ちたいと考える都会生活者
 - ・移住/就農希望者、大学生、テレワーク可能な会社員 など
- 研修プログラムの内容
 - ・農林漁業実習(有機農法、IOT/サステナブル/循環型高収益農業、島野菜/柑橘類の収穫など)
 - ・地域産業実習(酒蔵)、伝統工芸作業体験(漆器)
 - ・環境保全活動の実施(ビーチクリーン)
 - ・地元の人との交流(郷土芸能鑑賞、交流会開催)
 - ・生活課題解決の幫助
(高齢者宅の雪下ろしの手伝い等、地域課題解決に向けたグループワークと自治体への提言。)



有機野菜の収穫作業を行っている研修参加者

2. 実施体制図



3. 実績・成果

実績

- 「農業」「地域活動」の体験視察及び産物の6次化や販売マーケティングなど、**農業の現状、リアルな課題、「食」の重要性を理解してもらい、地域課題解決型ワークショップでは課題解決のアイデア合計4件を自治体へ提案。**
- **持続的に関係人口を創出する自走型プラットフォーム「JALふるさとむすび」**を構築。

研修参加者(総数)

91人

研修実施市町村数

11市町村

成果

- 研修参加者の大学生が卒業後に藤里町に移住、**現在就農に向けて準備中。**(田畑の土地、資金や取り組むべき農業について模索)
- 研修後もその地域の「人」との間で築いた**関係性を頼り、農家の手伝いや大学のゼミ合宿などで再訪。2地域居住を開始した者、首都圏で開催される物産展の手伝いに継続して参加する者も存在。**

研修参加者の声

研修で関わった農家の方との交流をこれからもずっと続けていきたい。また、農業の課題を解決するために一緒に考え、**自分なりの地域への貢献の仕方を見つけていきたい。**(東京都・50代・男性)

事業のポイント

地域行政、受入事業者、コーディネーター、移住経験者が**それぞれの得意分野で連携し、地域の魅力、県・市の移住・就農支援制度、移住や農業の現実を伝えることで、体験研修参加者が地域に対してより深い理解・関心を持つことができ、多くの関係人口創出につながった。**



プラットフォーム

4. 交付金終了後の状況・今後の展望

令和6年5月末に**関係人口創出を目的として地域と都会人材をマッチングするサービスを開始。**今後、利便性向上のためのHP機能拡充や利用者拡大のためのマーケティングを充実させ、地域課題解決の一助として移住、就農のためのポータルサイトとして社会的な成果をしっかりと生み出していく。

全体研修

期間 令和4年8月10日オンライン 岩手県遠野市
令和5年1月30日オンライン 秋田県藤里町
令和5年2月5日オンライン 鹿児島県大和村
令和5年2月12日オンライン 岩手県二戸市
令和5年2月19日オンライン 岩手県八幡平市
令和5年10月15日オンライン 沖縄県国頭村
令和5年11月5日オンライン 宮崎県新富町
令和5年11月12日オンライン 大分県中津市
令和6年1月29日オンライン 鹿児島県知名町
令和6年2月3日オンライン 鹿児島県大和村
令和6年3月2日オンライン 秋田県にかほ市

人数 90人
内容 各研修実施の1週間前に受入側の市町村担当者、コーディネーター、JAL引率者、研修参加者全員で研修の目的、研修内容、地域(農業)の課題感などを共有。問題意識を持ち地域に入る十分な準備を行った。

岩手県遠野市

期間 令和4年8月22日～9月4日
(13泊14日)

人数 1人
内容 地域ニーズ調査から、受け入れ先が提供可能な3パターンのプラン(①半農半観光(農泊滞在型)②就農学び(専業農家滞在型)③滞在コスト(報酬獲得型))を設定し、募集の反応を検証。



ホップ収穫作業

秋田県藤里市

期間 令和5年2月5日～2月18日
(13泊14日)

人数 17人
内容 地域課題に関心のある大学生、地域運営の候補になり得る地域づくり人材の育成、大学生とのマッチングを検証する。生活課題の雪かき作業にも参加した。



雪かきの手伝い

鹿児島県大和村

期間 令和5年2月12日～2月25日
(13泊14日)

人数 19人
内容 半農半観光のストーリーで島農(たんかん収穫)の手伝いを行い、観光と農業による関係人口の可能性を検証。(第一弾)



タンカン収穫作業

岩手県二戸市

期間 令和5年2月19日～3月4日
(13泊14日)

人数 5人
内容 地域資源の保全、事業継承課題の解決に向け漆塗り、酒蔵の仕事に興味のある潜在的な移住希望者に研修を実施し地域産業への就業の可能性などを検証。



杜氏作業

岩手県八幡平市

期間 令和5年2月26日～3月11日
(13泊14日)

人数 17人
内容 循環型やクリーンエネルギーなどサステナブルな農業、IoT農業に関心のある人材とのマッチングを検証。



飼料作業

沖縄県国頭村

期間 令和5年10月22日～11月4日
(13泊14日)

人数 11人
内容 半農(半貢献)+半島人体験(テレワーク)のプログラム。SGD'S色の濃い島農、漁業の手伝い、島人体験などを通じて移住、関係人口の可能性を検証。



シークワーサー収穫作業

宮崎県新富町

期間 令和5年11月12日～11月25日
(13泊14日)

人数 5人
内容 自然農法の価値、有機農業を真剣に学ぶプログラム。地域農業での起業やキャリアチェンジから移住、関係人口の可能性を検証。



有機野菜収穫

大分県中津市

期間 令和5年11月19日～12月2日
(13泊14日)

人数 2人
内容 本格的な農業実習中心に果樹農家のリアルを学ぶプログラム。自然豊かな地域での農園事業継承のニーズと移住、関係人口の可能性を検証。



マコボン収穫作業

秋田県にかほ市

期間 令和6年3月9日～3月22日
(13泊14日)

人数 2人
内容 大学生が漁村で漁師の生活や生産現場のリアルを学ぶ。農山漁村の生活の中で感じた、地域や生産現場の魅力や世の中に発信、未来を考える。



漁の網修復作業

鹿児島県知名町

期間 令和6年2月4日～2月17日
(13泊14日)

人数 6人
内容 半農+半島人体験(テレワーク)のプログラム。SGD'S色の濃い島農の手伝い、環境保全活動などを通じて移住、関係人口となり得る可能性を検証。



ジャガイモ収穫作業

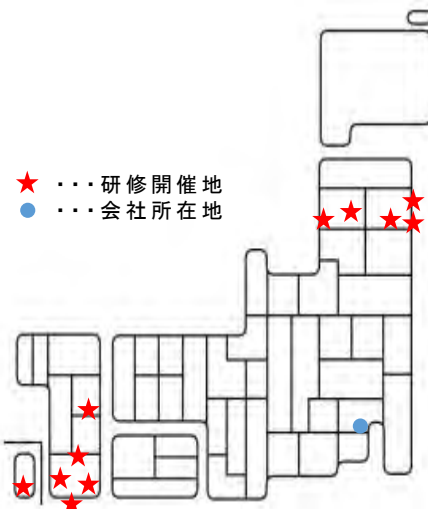
鹿児島県大和村

期間 令和6年2月11日～2月24日
(13泊14日)

人数 6人
内容 半農半観光のストーリーで島農(たんかん収穫)の手伝いを行い、観光と農業による関係人口の可能性を検証。(第二弾)



タンカン収穫作業



★・・・研修開催地
●・・・会社所在地

- **受入地域がジョイントを組む**ことで、研修生の研修目的とスケジュールに合わせた**柔軟な研修受入れを可能**とし、地域に関わりたいという想いを持つ人材と地域をマッチングさせた研修を実施。
- 地域にとっても単純な受入れではなく、募集から研修生毎の受入デザインを作るまでの一貫の過程を担うことで**地域力向上を目指した取組を推進**。



意見交換の様子

1. 体験研修の概要

- 研修プログラムの目的
 - ・就職氷河期世代を含む多様な人材が農山漁村を知り、農山漁村の生活を体験することを通じて、農山漁村に関心を持つ多様な関係人口を創出し、ひいては将来的な農業・農村の新たな担い手の確保につなげていくためのきっかけをつくることを目的とし、地域外の人材の持続的な流入による農山漁村の活性化の取組を支援すること。
- 研修ターゲット
 - ・農村や地域ビジネスに興味ある方
 - ・移住や定住を農村や地域で考えている方
 - ・もともと地域に興味があり関わりたいと思っている方
- 研修プログラムの内容
 - ・各地域の農林漁業の1次産業、付随する地域ビジネス、それに関わるDMOや中間支援法人、に関する個人毎に興味ある体験を提供

3. 実績・成果

実績

全ての受入れ地域において、研修生の本業との調整を鑑み、あらかじめ地域で決めた日程ではなく、研修生ごとの来訪日程の**希望を聞き、その都度宿泊先を手配しながら行程を作るスタイル**で実施。日程の調整、希望する受け入れ事業者の調整、個別プログラムの作成のために特に時間を注いだことで、個別の深い体験提供と地域とのつながりが持てた。

研修参加者(総数)
206人
研修実施市町村数
4市町村

成果

- 研修先の農家での課題のハウスの設置の人手不足でサポート
- 農家民宿の村の風景を楽しんでくれるようなマップやツールを開発
- 研修生複数名が研修後に農山漁村地域や地域の人に関わるビジネスで創業
- 研修後に自らが居住する地域で農泊や地域活性の協議会等において活躍
- 大手企業等の商品開発に地域資源を活用

研修参加者の声

体験させていただいたプログラムはどれも非常に魅力的なもののばかりで非常にいい経験になりました。(東京都・20代・男性)

2. 実施体制図

株式会社大田原ツーリズム

地域コーディネーター

栃木県大田原市

群馬県みなかみ町

秋田県仙北市

岩手県釜石市

調整・企画の提供

調整・管理

受入先

栃木県大田原市

・momo farm
・岩城農園等

仙北市役所

岩手県釜石市
・かまいしDMC

事業のポイント

受入れ地域がジョイントを組む構成のため、**個別の受入れが柔軟に対応**でき、参加者の総数も多いことながら、満足感や、その後の関わりも十分に出来上った研修の提供ができた。**受入れ地域にとってもノウハウの向上**ができた。



各地域のコーディネーター

4. 交付金終了後の状況・今後の展望

- 各地域は、人材交流、研修プログラムの開発、体験のアクティビティの開発が進んだ。今後とも**今回の研修手法を活かして、各地域での研修構築**をしていく計画。
- テーマ性のある**委託事業を各地域に受託してもらい地域を育てることも重要**。

全体研修

期間 令和4年6月1日～令和6年3月31日

人数 206人

内容

- ・毎月、受入れ地域と事務局(大田原ツーリズム)との合同の意見交換・打ち合わせを実施。
- ・受入れ方向性、課題管理、研修内容を事務局が管理
- ・受入れ地域同士で、うち2年間の中で4回ほど現地実習を行い、リアルな意見交換、研修を体験。
- ・各地域の進捗管理を大田原ツーリズムが管理。
- ・ネット販売業者とタイアップし、4地域の研修受入れを推進。
- ・プラットフォームの作成とプロモーション活動



全コーディネーター集合写真



研修結果報告会

栃木県大田原市

期間 令和4年6月1日～令和6年3月31日

人数 52人

内容

- ・研修生の本業との調整を鑑み、あらかじめ地域で決めた日程ではなく、研修生ごとの来訪日程の希望を聞き、その都度宿泊先を手配しながら行程を作るスタイルでは、日程の調整、希望する受け入れ事業者の調整、個別プログラムの作成のために特に時間を注いだ。
- ・募集型での研修は、農業、6次産業、農家民宿、アグリツーリズム(農家のホテル)、古民家の宿、DMO講習、ワークショップの14日間を作り、包括的な農村地域や農業に関わる知識と体験、それを生かした仕事づくりの研修期間を構築した。



農家民宿でのヒアリング



研修生発表会の様子

秋田県仙北市

期間 令和4年6月1日～令和6年3月31日

人数 52人

内容

- ・関係人口創出を目的として地元民との交流や農山村の生活を体感することを重視したプログラムを実施し、終了した研修生からは再来訪の確約をもらうことができ、実際に研修生が移住者ともなった。
- ・これまでつながりのあった研修生はもちろん、初めて仙北市を訪れた研修生も事業終了後に継続した深い関係性を築くことができたことも貴重な財産となった。
- ・研修生の本業との調整を鑑み、地域で決めた日程ではなく、研修生ごとの来訪日程の希望を聞き、その都度宿泊先を手配しながら行程を作るスタイルとした。個別プログラムの作成のために特に時間を注いだ。



味噌作り体験



報告会の様子

岩手県釜石市

期間 令和4年6月1日～令和6年3月31日

人数 52人

内容

- ・持続可能な観光で注目されているため、「一次産業を通じた、持続可能な観光地域づくり」をテーマとして、大学生を中心に、大学の先生を通して募集したところ、多くの大学生に参加いただくことができた。
- ・14日間の一次産業体験研修として、より地域に愛着を持ってもらえるよう「地域への愛着を醸成するため、地域の様々な方に触れ合い、その方の課題や取組を知ってもらう」ような研修の構成を目指した。
- ・研修生の希望時期に添える形で実施し、内容についても、できる限り研修生の希望を盛り込んだ。



漁業体験



林業体験

群馬県みなかみ町

期間 令和4年6月1日～令和6年3月31日

人数 50人

内容

- ・参加者個別にヒアリングを行いカスタマイズ
- ・主に農業や地方移住に興味のある方をターゲットとして募集、農作業や地域交流を軸に体験研修
- ・大規模観光農園、農業生産法人や道の駅でのビニルハウスの組み立てやイチゴの収穫作業など、人手不足解消に向けた作業に本研修が活用。研修修了者のうち2名は移住後に就職が内定
- ・農家民宿での滞在し、地域内での交流イベント等の参加を促した。
- ・地域との関わりを通して、継続的な来訪者が増加。移住者も誕生した。

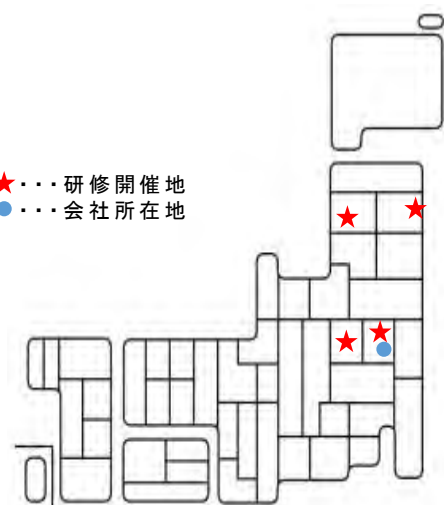


募集の内容



研修時の様子

- ★・・・研修開催地
- ・・・会社所在地



- 農家民宿などの農泊実践地域を対象に現地研修を実施し、継続した交流が出来る環境づくり
- 地方で「暮らす」と「働く」をリアルに体験し、研修終了後に移住に繋がりのしやすい機会を提供



みかん収穫作業を行っている様子

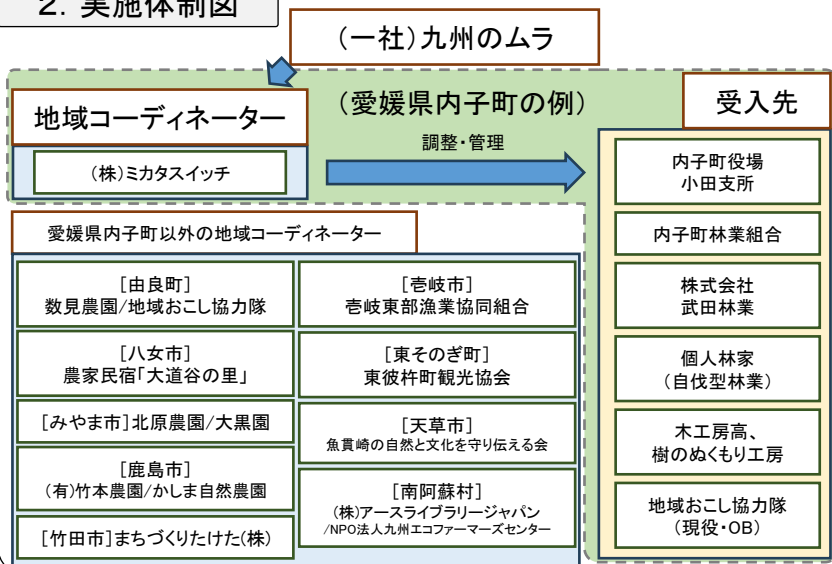
1. 体験研修の概要

- 研修プログラムの目的
 - ・地方における一次産業の労働者不足・担い手不足解消のため就労型研修を行い、地方移住への関心を高めること。
 - ・地方での起業や生業づくりの実践現場で研修することで、2拠点居住やマルチワークなどの多様な関わり方を知ってもらうこと。
- 研修ターゲット
 - ・都市部在住者で主に就職氷河期世代
 - ・地方への移住(又は2拠点居住)に関心を持っている方
- 研修プログラムの内容
 - ・一次産業での現場研修
 - ・移住者、地域おこし協力隊、新規就農者らとの交流や取組み現場視察



キウイ収穫の作業を行っている研修参加者

2. 実施体制図



3. 実績・成果

実績

参加した研修生は現地研修毎のニーズに合わせた研修内容に取り組んだ。例えば、宇岐市では研修受入先である漁協組合が新たに人材を募集していることから、将来的に漁協組合で雇用されることを前提とした就業体験を行った。また由良町、南阿蘇村では地域おこし協力隊の募集も兼ねた現地研修を実施した。

研修参加者(総数)

88人

研修実施市町村数

10市町村

成果

- 研修後に研修地へ移住した参加者は7名。うち研修受入先に雇用された方は、内子町2名、みやま市1名、宇岐市2名、南阿蘇村1名の5名である。また、現地で滞在した農家民宿家庭が空き家を斡旋し2名が移住したケースや、体験研修をきっかけに研修地の近隣やUターンで地元へ移住したケースが起こった。
- 1次産業に関心を持った人材を惹きつける体験プログラムを構築したことで3名の新規就農(漁業)者が誕生した。研修生のうち29名が研修終了後も農作業やイベントを手伝うなど研修地域との関係性を維持している。

研修参加者の声

山が放置されていることに興味があり、林業に関わりたいと思っています。今回学んだことと地元でフィードバックしたり竹田市ともつながりを持ち続けたいと思います。(熊本県・30代・男性)

事業のポイント

各地域のパートナーとして農泊実践者に関わって頂いたことで、長期滞在先を確保しつつ、リアルな地域の暮らしを実感できた。また、活躍している農泊実践者は地域での顔も広く、研修後も移住希望者に対して住居、仕事などの相談窓口となるなど、移住や移住先での定着に大きく貢献した。



地域おこし協力隊OBの活動を聞いている様子

4. 交付金終了後の状況・今後の展望

- 自治体との連携については、今年度は宮崎県木城町にて短期間のお試し滞在企画を弊社主導にて実施。来年度以降定期的に開催予定。西米良村でも来年度同様に計画。
- 専門学校連携については、福岡市内の福岡ECO海洋動物専門学校が今年度1週間のムラ暮らしインターンを阿蘇地域で実施。来年度以降も継続予定。

全体研修

期間 令和5年2月16日 オンライン
令和6年2月21日 オンライン

内容 各年、現地研修終了後に全参加者を対象とした事後報告会を兼ねたオンライン研修を実施。全体会の後、現地研修先別にルームに分け研修生と受入地域、研修生どうしの交流の時間を持って頂いた。これにより研修終了後にまた現地を訪れるためのスケジュール調整を行ったり、研修先への移住(就職)の調整など行うことが出来た。



全体研修の様子

和歌山県由良町

期間 ◆令和4年度
＜1週間×2回滞在型＞
令和4年10月8日～14日(6泊7日)
令和4年12月3日～9日(6泊7日)
＜2週間滞在型＞
令和4年11月12日～25日(13泊14日)

◆令和5年度
＜1週間×2回滞在型＞
令和5年10月22日～28日(6泊7日)
令和6年1月14日～20日(6泊7日)
＜1週間×2回滞在型＞
令和6年11月26日～12月9日(13泊14日)



しらす干し作業

人数 19人(令和4年度12人、令和5年度7人)

内容 農業担当の地域おこし協力隊導入を前提とした農作業体験の他、地域内の主な産業(農業・漁業)体験研修

愛媛県内子町

期間 ◆令和4年度
令和4年10月3日～16日(13泊14日)

◆令和5年度
令和5年9月25日～10月8日(13泊14日)

人数 10人(令和4年度7人、令和5年度3人)

内容 森林組合、自伐型林家、木工、木育活動などでの現場研修、地域おこし協力隊OB訪問など



伐採作業後

福岡県八女市

期間 ◆R4年度
＜1週間×2回滞在型＞
令和4年11月10日～23日(13泊14日)
＜3回滞在型＞
令和4年10月22日～28日(6泊7日)
令和4年12月2日～5日(3泊4日)
令和5年1月13日～15日(2泊3日)

◆令和5年度
令和5年11月18日～23日(7泊8日)
令和5年12月16日～18日(2泊3日)
令和6年1月26日～28日(2泊3日)

人数 15人(令和4年度9人、令和5年度6人)

内容 みかん・キウイ収穫作業、農家の課題解消策としてのコンポストトイレづくり、週末移住体験



完成したコンポストトイレ前で撮影

福岡県みやま市

期間 ◆令和5年度
令和5年10月26日～11月8日(13泊14日)

人数 1人

内容 みかん収穫、販売イベント活動など



選果場視察の様子

佐賀県鹿島市

期間 ◆令和4年度
令和4年11月20日～12月3日(13泊14日)

◆令和5年度
令和5年12月9日～12月22日(13泊14日)

人数 8人(令和4年度4人、令和5年度4人)

内容 自然農法での柑橘(ミカン・レモン)栽培現場作業・自然農法講義、地域の環境の取組み、新規就農者との交流など



レモンの有機栽培の圃場視察

長崎県壱岐市

期間 ◆令和4年度
令和4年10月4日～17日(13泊14日)
令和4年11月22日～12月5日(13泊14日)
令和5年2月1日～14日(13泊14日)

人数 5人

内容 漁業組合での雇用を前提とした漁協組合の作業研修



漁業研修

長崎県東彼杵町

期間 ◆令和4年度
令和5年2月6日～19日(13泊14日)

人数 7人

内容 いちご農家での農作業体験、自治体が半農半X型人材の移住者を希望していることから農業+αの活動を行っている移住者・新規就農者らの交流など



いちご販売支援の様子

熊本県天草市

期間 ◆令和4年度
令和4年9月30日～10月13日(13泊14日)
令和4年10月16日～29日(13泊14日)
令和4年11月27日～12月10日(13泊14日)
令和4年12月11日～24日(13泊14日)
令和5年2月4日～17日(13泊14日)

人数 8人

内容 刺し網漁・ヒオウギ貝養殖作業体験の他、三次産業研修としての宿泊施設運営・海のアクティビティ実施研修など



宿泊施設研修

熊本県南阿蘇村

期間

◆令和4年度
令和4年11月30日～12月3日
(13泊14日)

◆令和5年度
令和6年2月5日～28日
(13泊14日)

人数 10人(令和4年度6人、令和5年度4人)

内容 いちご農家での農作業研修、耕作放棄地の整備作業、新規就農者向け研修施設での基礎研修の他、草原を守るための活動現場や震災遺構視察など



いちご箱詰め作業

大分県竹田市

期間

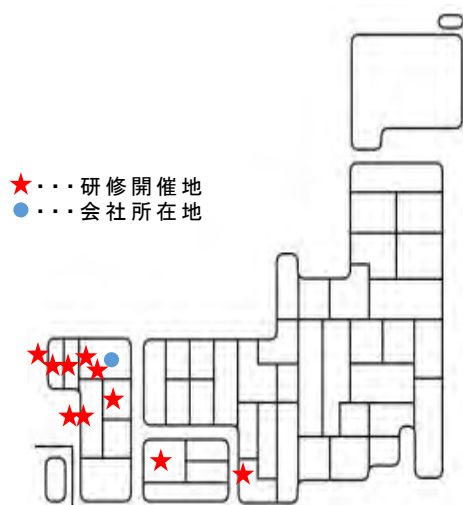
◆令和5年度
令和5年11月20日～12月3日
(13泊14日)

人数 5人

内容 里山保全、資源(竹)の活用をテーマとし、竹の伐採作業から加工作業を実施。また竹加工商品についての商品開発、販促活動について検討。



竹伐採作業研修



★・・・研修開催地
●・・・会社所在地

- 農山漁村の産業や地域づくりを担う組織が持つ課題解決に、**地域外の企業人等がプロボノ(仕事の経験を活かした社会貢献活動)**として関わるプロジェクト機会を通じ、関係人口の創出を目指す。



家族も関係人口に

1. 体験研修の概要

- 研修プログラムの目的
 - ①農山漁村への就業や移住・定住への関心を高める関わりの創出
 - ②地域コミュニティの課題解決
 - ③外部人材の受け入れに必要なノウハウ移転を通じた「地域内研修コーディネーター」の育成
- 研修ターゲット
 - ・主に都市圏のビジネスパーソン、フリーランスなど
 - ・中間支援組織、行政担当者、観光協会などのコーディネーター
- 研修プログラムの内容

各地域の農林水産業に関わる「しごと体験」と、地域で活躍する団体の運営上の課題解決に取り組む「プロボノ(仕事の経験をいかした社会貢献活動)」を組み合わせた「プロジェクト型研修」を実施。



新潟県魚沼での農作業の様子

3. 実績・成果

実績

- 19地域23団体と連携し、32件のプロジェクト型研修を実施。プロボノ参加者による業務改善、マーケティング調査、情報発信支援など、**地域外の力を課題解決に繋げる具体的な協働実績**が生まれた。
- 行政、中間支援組織など16団体がコーディネーターに登録。**プロボノ人材と地域との結節点となる基盤構築**に繋がった。

研修参加者(総数)

66人

研修実施市町村数

19市町村

成果

体験研修地域への移住者	体験研修地域との関係人口	新規就農者等	農山漁村への関心の高まり
0人	66人	0人	92%

- **地域課題の共有を入口に、オンラインと現地訪問を繰り返しながら共に解決を目指すプロセス**が、地域を超えて今後もいつでも相談できる関係人口を生み出し、その後のつながりを支えている。
- ウェブサイト、チラシなどの広報ツール、地域材の在庫管理の仕様設計、事業計画など提供された成果物によって、各課題の解決スピードが向上した。
- 子育て中のママチーム、同一企業の社員チーム等、**多様なスタイルによる関わり**にチャレンジした結果、キャリアの見つめ直し、本業への持ち帰りなど複数の有効性が確認できた。

研修参加者の声

培ったスキルで地域に恩返しをして、新たなふるさとを創出する活動。(東京都・40代・男性)

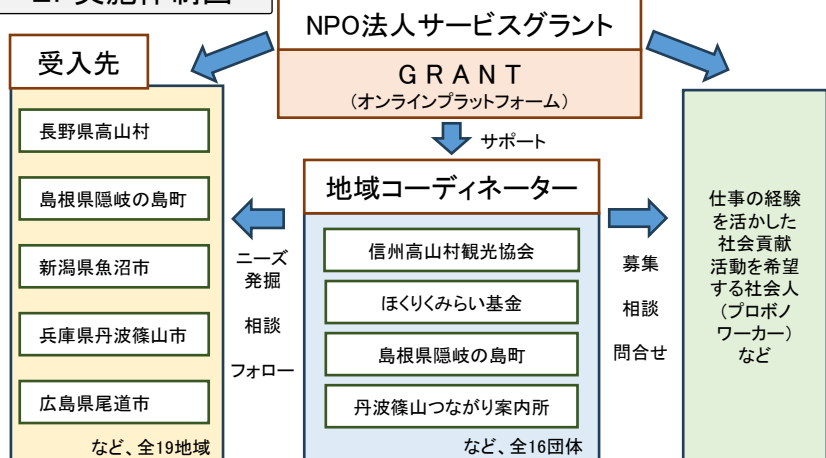
事業のポイント

- 超高齢化社会の中で人的資源が絶対的に不足する**地域自らが課題やニーズを自由に発信し、外部の担い手とプロジェクト単位で課題解決を進められる自立的な仕組みづくり**の提供。
- 地域の課題解決と意欲ある企業人などによる社会参加を両立するなど、複数の副次的効果が同時に見込めるプログラム。



作成した成果物

2. 実施体制図



4. 交付金終了後の状況・今後の展望

- 交付金終了後も各地のコーディネーターによるプロジェクト創出が継続している。
- 県や市町村・中間支援組織が取り組む地域づくりの重点課題に、地域内外の新たな力を活かす施策として、“ふるさとプロボノ”をモデルとした支援策の導入検討が進んでいる。
- 企業の人材育成・組織開発施策として、**地方創生をテーマに地域をフィールドとした課題解決型越境学習プログラム「プロボノリーグ」**を運営し、継続的に展開している。

山形県最上町

期間 令和5年6月21日～9月17日
 人数 2人
 内容 古民家ゲストハウスを活用した
 農業体験のホームページ作成
 支援先 最上の荘園
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



完成したホームページ

新潟県魚沼市

期間 令和5年4月20日～6月11日
 令和5年6月2日～7月13日
 令和5年8月5日～11月13日
 人数 12人
 内容 農村体験企画へのパイロット参加と改善提案
 支援先 ものずき村
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



体験の感想と改善点を提案

千葉県御宿町

期間 令和5年7月23日～9月21日
 人数 1人
 内容 有機牛乳ソフトクリームの実験販売
 のアンケート調査実施と集計・分析
 支援先 東南風の製造場
 CD ちばふるさとプロボノ



調査分析の結果を共有

山形県最上町

期間 令和5年10月2日～12月16日
 人数 2人
 内容 農業体験チラシの作成
 支援先 最上の荘園
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



完成したチラシ

新潟県魚沼市

期間 令和5年5月14日～9月1日
 人数 2人
 内容 ものずき村のホームページ
 リニューアル
 支援先 ものずき村
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)

ホームページを
リニューアル

千葉県御宿町

期間 令和5年8月2日～10月2日
 人数 1人
 内容 有機牛乳ソフトクリームの
 ペルソナ・カスタマージャーニー設計
 支援先 東南風の製造場
 CD ちばふるさとプロボノ

カスタマージャーニーマップ
を提案

山形県大蔵村

期間 令和5年10月4日～令和6年2月28日
 人数 1人
 内容 地域資源を活用し地域で
 活躍する方の募集記事の作成
 支援先 山形県最上郡大蔵村
 CD 「日本で最も美しい村」連合



農業体験の様子

長野県高山村

期間 令和4年8月24日～令和5年1月6日
 人数 1人
 内容 ワインを通じた地域振興イベント
 のホームページ更新
 支援先 おごっそに乾杯実行委員会
 CD 信州高山村観光協会

ページ更新及び
広報戦略も提案

千葉県南房総市

期間 令和6年2月5日～2月28日
 人数 2人
 内容 南房総の海、里山体験ツアー運営
 のためのSNS活用とWeb広報の支援
 支援先 くじらのもり
 CD ちばふるさとプロボノ



SNS活用例の提示

宮城県石巻市

期間 令和5年9月14日～12月1日
 人数 6人
 内容 「ほや伝道師」の登録制度における
 ツール選定と業務フロー整理
 支援先 ほやほや学会
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



業務フローを可視化

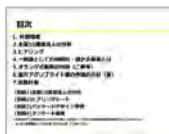
長野県高山村

期間 令和4年9月8日～令和5年3月7日
 人数 1人
 内容 「空き家バンク登録」促進に係る
 パンフレットの作成
 支援先 高山村定住支援室
 CD 信州高山村観光協会

パンフレットの
台割を提案

石川県金沢市

期間 令和6年1月5日～2月20日
 人数 3人
 内容 全国の10件程度の農業法人の
 分析と今後の方針決定のサポート
 支援先 金沢アグリプライド
 CD ほくりくみらい基金

調査・ヒアリング結果の
まとめと提案

新潟県魚沼市

期間 令和5年1月22日～5月29日
 人数 1人
 内容 魚沼で農作業のシェアをしてみたい
 人のターゲットプロフィール作成
 支援先 ものずき村
 CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



ペルソナ設定を実施

長野県高山村

期間 令和5年10月9日～令和6年3月25日
 人数 4人
 内容 高山村の魅力を顕在化へ対話での
 課題整理
 支援先 信州高山村観光協会
 CD 信州高山村観光協会

魅力化向上の施策を
多様な視点から提案

CD(コーディネーター)とは・・・
 各地の中間支援組織、地域おこし協力隊、自治体
 など、地域の団体のニーズの発掘、プロジェクトの
 相談を受け付ける役割を担う組織。

和歌山県紀の川市

期間 令和5年4月25日～7月29日
令和5年10月31日～11月2日
人数 1人
内容 藤井地域の農作物マップ作成
支援先 藤井の里くらぶ
CD ICORAYO紀の川



観光農業の来訪者向け
のマップが完成

和歌山県白浜町

期間 令和5年7月16日～10月24日
人数 1人
内容 紀州材利活用のための
サウナマーケティング支援
支援先 SDGsによる白浜町地域未来創造協議会
CD ワークーションの聖地白浜町deプロボノ



サウナ事業立上げの
シミュレーション

島根県隠岐の島町

期間 令和5年10月27日～令和6年2月29日
人数 2人
内容 隠岐の島の畜産イノベーションの
思いを、言語化するサポートを。
支援先 寿畜産
CD 隠岐の島町地域振興課



畜産への思いを伝える
フォトブック作成

和歌山県紀の川市

期間 令和5年10月16日
～令和6年2月5日
人数 1人
内容 団体ロゴの制作
支援先 藤井の里くらぶ
CD ICORAYO紀の川



ロゴは各種SNSや団体
発信ツールにも活用

和歌山県智勝浦町

期間 令和5年5月15日～9月15日
人数 1人
内容 新規協力者(賛助会員等)開拓の
ための広報施策検討
支援先 棚田を守ろう会
CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



ウェブサイトの改訂

広島県北広島町

期間 令和5年7月4日～10月24日
人数 3人
内容 ICTツールを活用した里山保全に
つながる木・薪の「在庫管理」設計
支援先 西中国山地自然史研究会
CD WAKU WAKU GAKKO



在庫管理の改善
新たな仕様の提案

和歌山県白浜町

期間 令和5年5月29日～7月10日
人数 2人
内容 梅の収穫体験の企画書作り
支援先 SDGsによる白浜町地域未来創造協議会
CD ワークーションの聖地白浜町deプロボノ



体験企画書を作成

兵庫県丹波篠山市

期間 令和5年3月17日～9月9日
人数 3人
内容 「応援消費」を拡げるための
ネーミング・ブランディング提案
支援先 里地里山問題研究所(さともん)
CD 丹波篠山つながり案内所



コンセプト設定、
新規ネーミングの提案

広島県福山市

期間 令和5年9月8日～令和6年2月2日
人数 3人
内容 団体の魅力発見、活動方針作成
の支援
支援先 UTSUMI FISHERMANS FEST 実行委員会
CD 福山市まちづくりサポートセンター



活動のステップを
整理、可視化

和歌山県白浜町

期間 令和5年6月29日～8月6日
人数 1人
内容 秋の収穫祭イベント企画書作り
支援先 SDGsによる白浜町地域未来創造協議会
CD ワークーションの聖地白浜町deプロボノ



体験企画書を作成

島根県隠岐の島町

期間 令和5年2月15日～5月3日
人数 2人
内容 サウナ付き宿泊施設の
マーケティング支援
支援先 VAGABOND(KUSUBURUHOUSE)
CD 隠岐の島町地域振興課



市場調査結果の
とりまとめと提案

広島県尾道市

期間 令和5年7月5日～10月6日
人数 6人
内容 活動内容の整理と参加者募集用
チラシ構成案作成
支援先 Feast forest project ごちそうの森
CD WAKU WAKU GAKKO



活動案内のチラシ作成

和歌山県白浜町

期間 令和5年8月7日～9月25日
人数 1人
内容 紀州材利活用のための紀州備長炭
の窯焼き体験のマーケティング支援
支援先 SDGsによる白浜町地域未来創造協議会
CD ワークーションの聖地白浜町deプロボノ



体験ターゲットの提案

島根県隠岐の島町

期間 令和5年10月23日
～令和6年2月1日
人数 1人
内容 「茅文化」継承と産業化につなげる
PR方法の検討
支援先 吉崎工務店
CD 隠岐の島町地域振興課



茅を中心とした
PR施策の提案

CD(コーディネーター)とは・・・
各地の中間支援組織、地域おこし協力隊、自治体
など、地域の団体のニーズの発掘、プロジェクトの
相談を受け付ける役割を担う組織。

福岡県八女市

期間 令和5年8月11日
～令和6年1月31日

人数 1人

内容 ウッドボイラーがある日常をインタビュー 利用者インタビュー

支援先 山村塾

CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



記事の作成

福岡県八女市

期間 令和5年11月11日
～令和6年2月29日

人数 1人

内容 薪銀行再スタートの参謀を募集

支援先 山村塾

CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



人材募集要件の整理

佐賀県唐津市

期間 令和5年8月4日～11月21日

人数 1人

内容 「お試しなか暮らし体験住宅」
の情報発信のお手伝い

支援先 交流スペース彩り

CD ふるさとプロボノ(サービスグラント)



広報・発信の提案

大分県大分市

期間 令和6年2月16日～3月10日

人数 1人

内容 関あじ関さばまつの情報発信支援

支援先 さがのせきまちづくり協議会

CD 大分市役所林業水産課

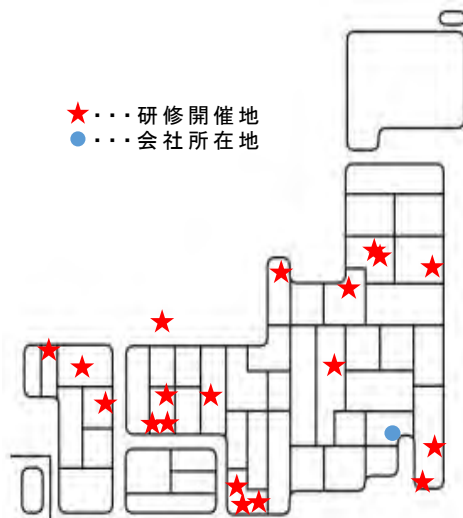


情報発信の指針作成

CD(コーディネーター)とは・・・

各地の中間支援組織、地域おこし協力隊、自治体
など、地域の団体のニーズの発掘、プロジェクトの
相談を受け付ける役割を担う組織。

★・・・研修開催地
●・・・会社所在地



- 主に都市部で働くビジネスパーソンを対象に「農業」だけでなく、半農半Xから派生させた【農X】という、**農的な暮らしを中心に置きながら、地域での農的な生業(起業・複業)をつかっていく「新しい生き方・働き方」**の推進および、選択肢の多様化を通じた**農的な起業・複業**の推進を目指す。



新規就農家の視察を行う研修参加者

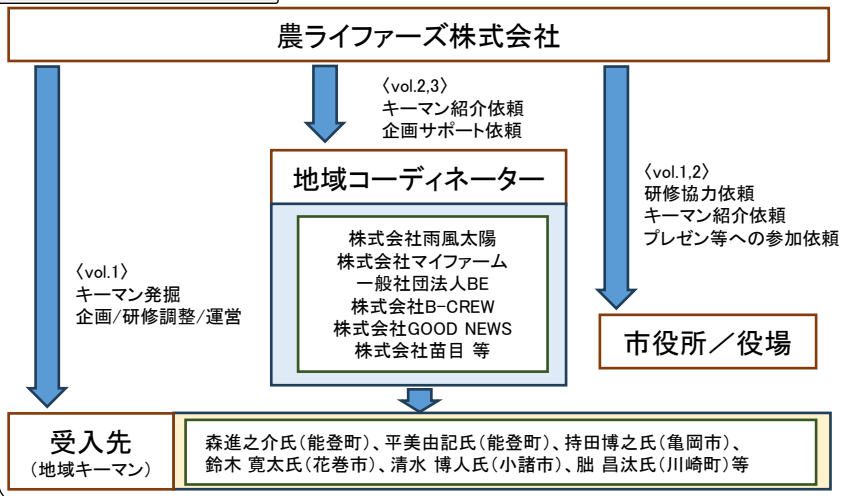
1. 体験研修の概要

- 研修プログラムの目的
 - ・農的な起業・複業人材の育成
 - ・農に関わる関係人口～移住者創出
- 研修ターゲット
 - ・都市部で働くビジネスパーソン
- 研修プログラムの内容
 - ① オリエンテーション(オンライン / 1時間半)
 - ② 農的な暮らしと商いのつくり方を学ぶ講座
 - 第1講座 未来型”農”マーケティング
 - 第2講座 農X事業コンセプトの立て方
 - 第3講座 革命的農ブランディング
 - 第4講座 小さな農家経営論
 - ③ 自分らしい農Xプランをつくり動き出す研修
 - 2泊3日×4回 + 1泊2日×1回(計14日間)



農業 / 林業の体験作業を行う研修参加者

2. 実施体制図



3. 実績・成果

実績

農的な暮らし・農的なビジネスをしている「地域キーマン」との交流や活動の視察・体験を通じて、農的な起業/複業の具体的なイメージが描けるプログラムを実施。主な対象者への集客は、**個別スカウト・メディア/SNS 広告・オンライン説明会や事前の個別選考面談を実施し**、プログラム参加のミスマッチ防止、プログラムの質の向上に繋がった。

研修参加者(総数)
80人
研修実施市町村数
21市町村

成果

「**農に関わる多様な選択肢**」を見せることで、**参加者自身がやりたい事業や生き方が明確になり**、地域での起業/複業、関係人口/移住定住に繋がりがやすかった。大阪府豊能町へ移住し、新規就農をした20代女性は加工品販売、畑の学校、キッチンカーなど、就農1年目から農業だけでなく「農X」事業を軸に活動をはじめている。東京から香川県三豊市へ移住した50代男性は会社員を辞めて、三豊市初のクラフトビール醸造所を立ち上げた。

研修参加者の声

地方での小商いの起こし方について学びたく参加しました。農作業体験がとて思っていたのですが、農家さんの複業の多様さと、二次加工、飲食中心、宿泊など多彩な体験が出来ました。(東京都・50代・会社員)

事業のポイント

Vol.2,3ではコアキーマンとなる「地域コーディネーター」と連携した企画～運営を行ったことで、プログラムの質の向上、地域の農業者・移住者と受講生との関係性構築強化、関係人口促進に繋がった。**人と人との繋がりを丁寧ににつけていくことで関係人口やその先の移住に繋がることを認識した。**



移住・起業した方の店舗を視察

4. 交付金終了後の状況・今後の展望

- 本事業での取り組みを通じて、「長野県小諸市」からの委託事業として【**移住×農ライフ**】を促進する【**INASTA in 小諸市**】プログラムを令和6年度から実施することが決まった。
- 【**地域のリーダー人材育成**】に特化した完全伴走型のプログラム【**農村起業塾**】を開始。会社員のニーズが高く、更なる展開として自治体との連携を模索しながら進めている状況。

石川県能登町 vol.1

期間

令和4年11月4日～11月6日(2泊3日)
令和4年11月25日～11月27日(2泊3日)
令和4年12月2日～12月4日(2泊3日)
令和5年1月6日～1月8日(2泊3日)
令和5年1月28日～1月29日(1泊2日)

人数 2人

内容 養蜂場見学・菌床椎茸収穫体験・自伐型林業体験・クロモジ採取/蒸留・農家民宿体験・桜の植樹・定置網漁見学 等



桜の植樹の様子

香川県三豊市 vol.1

期間

令和4年10月14日～10月16日(2泊3日)
令和4年11月11日～11月13日(2泊3日)
令和4年12月16日～12月18日(2泊3日)
令和5年1月13日～1月15日(2泊3日)
令和5年2月4日～2月5日(1泊2日)

人数 6人

内容 オリブ農家 交流・酒蔵を改修した宿泊施設見学・果樹農家農作業・父母ヶ浜見学・地域密着型スーパーの視察 等



父母ヶ浜での記念写真

京都府亀岡市 vol.1

期間

令和4年10月28日～10月30日(2泊3日)
令和4年11月18日～11月20日(2泊3日)
令和4年12月16日～12月18日(2泊3日)
令和5年1月20日～1月22日(2泊3日)
令和5年2月11日～2月12日(1泊2日)

人数 10人

内容 有機JAS農家と交流・農作業体験・小豆の脱粒作業、おはぎづくり・アート×農で活動されている方々との交流 等



農作業研修

大阪府豊能町 vol.1

期間

令和4年11月11日～11月13日(2泊3日)
令和4年12月9日～12月11日(2泊3日)
令和5年1月13日～1月15日(2泊3日)
令和5年2月3日～2月5日(2泊3日)
令和5年2月18日～2月19日(1泊2日)

人数 12人

内容 狩猟見学・農福連携事業の視察・大豆の脱粒作業・準農家と農作業研修・味噌づくり見学・カフェ・直売所見学 等



移住してカフェを始めた方との交流

福岡県うきは市 vol.1

期間

令和4年10月28日～10月30日(2泊3日)
令和4年11月18日～11月20日(2泊3日)
令和4年12月9日～12月11日(2泊3日)
令和5年1月20日～1月22日(2泊3日)
令和5年2月11日～2月12日(1泊2日)

人数 5人

内容 養鶏場見学・棚田見学・森林作業・イチゴ農家と交流、作業・地域おこし協力隊との交流・マルシェ/直売所見学 等



農作業研修

岩手県花巻市 vol.2

期間

令和5年6月9日～6月11日(2泊3日)
令和5年7月14日～7月16日(2泊3日)
令和5年8月25日～8月26日(2泊3日)
令和5年9月8日～9月10日(2泊3日)
令和5年10月14日～10月15日(1泊2日)

人数 7人

内容 ブドウの農作業体験・6次化カフェ見学・祭り参加・農泊体験・地域おこし協力隊との交流 等



ブドウの農作業体験

長野県小諸市 vol.2

期間

令和5年6月9日～6月11日(2泊3日)
令和5年7月7日～7月9日(2泊3日)
令和5年8月18日～8月20日(2泊3日)
令和5年9月22日～9月24日(2泊3日)
令和5年10月21日～10月22日(1泊2日)

人数 8人

内容 ブドウ農園&ワイナリー見学・自伐型林業体験・切り花ワーク体験・こもろ市民祭り見学・稲作体験・宿泊事業見学 等



自伐型林業体験

兵庫県丹波市 vol.2

期間

令和5年6月16日～6月18日(2泊3日)
令和5年7月21日～7月23日(2泊3日)
令和5年8月25日～8月27日(2泊3日)
令和5年9月15日～9月17日(2泊3日)
令和5年10月14日～10月15日(1泊2日)

人数 7人

内容 丹波市立農の学校園圃場見学・直売所視察・ベビリーフ畑作業体験・農泊体験・ブルーベリー収穫体験 等



丹波市長・移住コーディネーターの方との交流

関東エリア vol.3

地域

栃木県那須町、東京都檜原村、千葉県鴨川市、神奈川県平塚市、広島県竹原市 計5市町村

期間

令和5年9月15日～9月17日(2泊3日)
令和5年10月13日～10月15日(2泊3日)
令和5年11月10日～11月12日(2泊3日)
令和5年12月8日～12月10日(2泊3日)
令和6年1月13日～1月14日(1泊2日)

人数 8人

内容 農福連携事業/工場視察・小規模酪農農家視察・わさび田再生作業・有機農業法人視察/農作業体験・養鶏農家視察 等



農福連携事業者視察

瀬戸内エリア vol.3

地域

兵庫県淡路市、愛媛県松野町、広島県尾道市、広島県広島市、広島県竹原市 計5市町村

期間

令和5年9月29日～10月1日(2泊3日)
令和5年10月27日～29日(2泊3日)
令和5年11月24日～26日(2泊3日)
令和5年12月22日～24日(2泊3日)
令和6年1月20日～21日(1泊2日)

人数 9人

内容 いちご農家視察・塩づくり見学・宿事業視察・まちづくりの視察・レモン農家との交流・空き家再生事業視察・狩猟視察 等



農泊体験

東北エリア vol.3

地域

宮城県川崎町、宮城県東松島市、宮城県石巻市、宮城県名取市、宮城県川崎町 計5市町村

期間

令和5年9月15日～9月17日(2泊3日)
令和5年10月13日～10月15日(2泊3日)
令和5年11月10日～11月12日(2泊3日)
令和5年12月8日～12月10日(2泊3日)
令和6年1月13日～1月14日(1泊2日)

人数 6人

内容 セリ園圃視察・自然薯収穫作業・雪下人参収穫作業・養豚家兼シェフ交流・ワイナリー見学・震災のお話を伺う等



せり農家の視察・交流

